そーわちゃんだより

vol.35

2026年9月発行

2026年度 第1回 定時社員総会が開催されました！

2026年6月28日（日）に、2026年度第1回定時社員総会が開催されました。

会員総数645名のもと、2025年度事業・決算報告、役員改選、2026年度予算等について議決されました。当日は多くの会員の皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。

総会を通して寄せられたご意見や温かいお声かけ、そして日頃から本会の活動を支えてくださっている皆さまの思いを大切にしながら、これからも一歩ずつ活動を進めてまいります。

会員の皆さまとともに、よりよい会をつくっていけるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



2026年度 新役員のご紹介（2026年～2028年）

会長：末永　恭



このたび、引き続き宮崎県社会福祉士会の会長を務めさせていただくこととなりました。

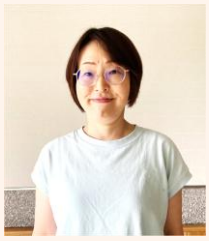
２期目の重責を担うにあたり、改めて身の引き締まる思いです。

これまで会員の皆さまをはじめ、多くの関係機関・関係者の皆さまに支えていただきながら、本会の活動を進めることができましたことを、心より感謝申し上げます。

社会福祉を取り巻く環境は大きく変化し、社会福祉士に求められる役割もますます広がっています。こうした中、専門職団体としての役割を果たすとともに、会員同士がつながり、学び合い、支え合える組織づくりを大切にしていきたいと考えています。

これからも会員の皆さまと力を合わせ、社会福祉士の専門性と可能性をさらに高め、地域福祉の充実に貢献できる会を目指してまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

副会長：黒木　有己乃



この度２期目として副会長に就任させていただきました。これまで諸先輩方、会員の皆様から会の運営や発展を支えてくださっていることに心より感謝いたします。会員も 600 名を超え、様々な分野で活躍されている方も多数いらっしゃいますが、今、宮崎県社会福祉士会全体が大きな転換期にさしかかっているのではないか、と感じております。今後もさらに会員の皆様のご活躍と、宮崎県内外からさらなる信頼を得ることができるように、微力ながら力を尽くしてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

副会長：土器屋　圭介



理事 ２ 期目になります。今期も副会長を務めさせていただくこととなりました。皆さまと一緒に会員同士のつながりを一層強化し、互いに高め合える組織づくりに取り組みたいと考えております。
どうぞよろしくお願いいたします。

自主事業部門：宮原　恵子



自主部門では、『福祉サービス第三者評価事業』『福祉サービス利用援助事業』『法人後見『全国大会準備委員会』に取り組んでいます。２期目となる今年度も、会員の皆さまの声を大切にしながら活動していけたらと考えております。

また、2028 年 7 月に開催される宮崎県での全国大会に向け、「参加してよかった」「仲間とつながれてよかった」と思える大会を、皆さまと一緒につくっていけたらと思います。どうぞご参加、お力添えください。

実践部門：伊藤　博和



今年度より実践部門理事を務めます伊藤博和です。
皆様と力を合わせてより良い会にしていきたいと思います。
至らない点もあるかと存じますが、よろしくお願いいたします。

ブロック活動部門：押川　喜久子



各ブロックでの活動に参加いただきありがとうございます。
地域に根差した各ブロックの活動を、これからも皆様とともにより楽しいものに、そして誰もが参加しやすい魅力的な活動へとしていくためにも、多くの方々に参加いただけると嬉しいです。「ひなたのアドボさん」では宮崎県のこども達のために尽力していきます。よろしくお願いいたします。

生涯研修部門：吉田　麻美



理事 3 期目となりました、吉田です。引き続き生涯研修部門の担当をさせていただきます。
よろしくお願いいたします。

写真の本は、刀根里衣（とねさとえ）さんの　**『おもいで星がかがやくとき』**
私のお気に入りの 1 つです。
数年前、彼女の個展に行き、直接お話をしたり、原画の解説をしていただいたりと、素晴らしい時間をいただきました。
歳を重ねるごとに解釈の幅が広がり深まります。読書の秋。
おとなの絵本時間。おすすめです(^^)

専門能力向上部門：黒木　天翔



今年度専門能力向上部門担当理事を拝命いたしました黒木天翔です。
理事選挙では、たくさんの応援をいただきありがとうございました。
専門能力向上部門は、日田前理事をはじめ歴代理事が中心となってバトンを引き継ぎながら、社会福祉士一人ひとりが専門性を発揮できるような取り組みや環境を作ってきました。
今年度から専門能力向上委員会も新体制となりさらにパワーアップしています。ベテランから若手まで共に『楽しく』活動できる機会を作りたいと考えています。「黒木は社会福祉士会の活動にいつもいる。」と言われるぐらい出現するので見かけた時には気軽に声をかけてください。趣味の写真の話などで声をかけていただいても嬉しいです。これからよろしくお願いします。

権利擁護部門：菊池　みなみ



今年度より権利擁護部門担当理事を務めさせていただくことになりました、菊池みなみと申します。権利擁護部門では「ぱあとなあ宮崎」「権利擁護推進委員会」「虐待対応専門職チーム」の運営に携わり、会員の皆様や各委員の皆様とともに活動してまいります。今年度は、ぱあとなあ宮崎の地区別定例会にも順次伺い、皆様から日頃の活動の中で感じていることやご意見を直接お聞かせいただければと思っております。

私自身、まだまだ至らない点もあるかと思いますが、会員の皆様のお力をお借りしながら、権利擁護部門の活動をより充実したものにしていければと思っております。

権利擁護部門：柏田　高宏



今期から権利擁護部門担当の理事に就任しました、柏田高宏です。

社会福祉士は、医療・高齢者・障害・子ども・生活困窮などに留まらず、より幅広い分野に関する知識や理解を持つ専門職であるべきだと考えています。そして、それぞれの分野で役割を果たすためには、各分野の関係者の皆さまと連携を深めることが大切です。そのためには、まず会員の皆さまと「顔の見える関係」を築くことが必要だと考えています。その方法の一つとして、私は「呑みニュケーション」を大切にしています。お酒を飲む方も飲まない方も、気軽に交流できる機会を通じて、会員の皆さまと親睦を深めていきたいと思います。これから皆さまとお話ししたり、杯を重ねたりする機会を楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。



監事：大田　勝信

３年目、任期の折り返しになりますので、監事の役割を全うできるよう努めたいと思います。

2026 年度の監事体制について（お詫び）

2026 年度の新役員体制につきまして、定時社員総会において新任監事の選任に必要な選任決議が行われていなかったことが確認されました。このことを受け、理事会において今後の監事体制について協議し、本会定款では監事を「１名以上」と定めていることから、2026 年度につきましては、大田勝信監事１名の体制とすることを決定いたしました。

今回の件は、本会の役員選任に係る手続上の不備によるものであり、広瀬氏をはじめ、会員及び関係者の皆さまにご心配とご迷惑をおかけすることとなりましたことを、深くお詫び申し上げます。本会では、今回の確認を踏まえ、今後の役員選任手続を改めて確認し、適正な法人運営に努めてまいります。会員の皆さまには、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

2026 年 8 月 29 日

一般社団法人宮崎県社会福祉士会

♠ 2026 年度 基礎研修Ⅰが開催されます

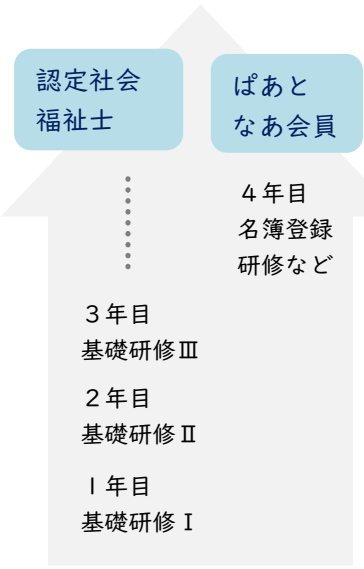
▶ 生涯研修からお知らせです。

2026 年度　基礎研修Ⅰ（2 日間）が、下記の日程でスタートします。基礎研修を受けて、スキルアップを目指しましょう。

将来、ぱあとなあとして活躍したい、認定社会福祉士を目指したいと考えられている方は、是非、受講をご検討ください。受講をご希望の方は、宮崎県社会福祉士会のホームページをご覧ください。

基礎研修Ⅰの申込〆切は、**9 月 25 日（金）**です。また、受講費用の振込期日が 10 月 2 日（金）までとなっております。受講申込済みで、まだ受講決定通知書が届いていない方は、受講費の振込みをご確認ください。（受講費の入金確認をもって、正式な申込受付となりますので、お気をつけください。）基礎研修Ⅱ・Ⅲを受講中の皆様も、引き続き頑張っていきましょう!!

（お届け時期によっては、すでに申し込みを終了している場合がございます。ご了承ください）



▷ 基礎研修Ⅰ

日　　程		科　目	場　所
11 月 15 日（日） 9:30～16:00	第１日目	生涯研修独自科目 ソーシャルワーク理論系科目 先輩社会福祉士の話を聴く	人材研修館センター ３階　中研修室
１月 16 日（土） 9:30～12:30	第２日目	権利擁護・法学系科目	人材研修館センター ３階　中研修室

＊ 感染症の流行や自然災害等の影響により、日程及び実施方法等が変わる場合があります。
変更時にはメール、ホームページで事前にお知らせいたしますため、ご留意下さい。

▷ 基礎研修Ⅱ　・対象者：社会福祉士であり、基礎研修Ⅰを修了している方

日　程		科　目	場　所
９月 27 日（日）	第３日目	地域開発・政策系科目 権利擁護・法学系科目	人材研修センター ４階　大研修室
10 月 ４日（日）	第４日目	地域開発・政策系科目 権利擁護・法学系科目	人材研修センター ４階　大研修室
11 月 23 日（月）	第５日目	実践評価・実践研究系科目	人材研修センター ３階　中研修室
12 月 26 日（土）	第６日目	人材育成系科目 実践評価・実践研究系科目	人材研修センター ３階　中研修室

▷ 基礎研修Ⅲ　・対象者：社会福祉士であり、基礎研修Ⅱを修了している方

日　　程		科　　目	場　　所
９月 ５日（土）	第５日目	サービス管理・経営系科目	人材研修センター ３階　中研修室
10 月３日（土）	第６日目	サービス管理・経営系科目	人材研修センター ３階　中研修室
11 月７日（土）	第７日目	地域開発・政策系科目	人材研修センター ３階　中研修室
12 月 12 日 （土）	第８日目	人材育成系科目	人材研修センター ４階　大研修室

※変更がある場合は、随時ホームページにてお知らせいたします。受講前にご確認をお願いいたします。

♠ 2026 年度　成年後見人材育成研修（委託研修）が開催されています

✦ **成年後見人材育成研修（委託研修）**

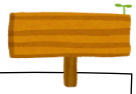
場所：　宮崎県福祉総合センター人材研修館３階「中研修室」

第１日目：　８月 29 日(土)　　/　　第２日目：　９月 19 日(土)

第３日目：　10 月 17 日(土)　　/　　第４日目：　11 月 28 日(土)

※研修の申込は、締め切りました。

✦ **成年後見人養成研修　名簿登録研修**　　日程：　2027 年１月９日(土)



ぱあとなあ会員の皆様には、講師・スタッフとしてご協力いただきありがとうございます。ぱあとなあ宮崎では、新たに成年後見人として活躍する仲間を募集しています。

♠ 自主事業部門より

１．福祉サービス第三者評価事業

「令和８年度宮崎県福祉サービス第三者評価調査者継続研修・養成研修 開催」

（宮崎県よりご案内）

１　開催日時（＊1）

①継続研修（放課後児童クラブに関する評価）

令和８年 10 月 31 日（土）午前９時から午後５時

※申込み期限：継続研修　10 月２日（金）

②養成研修（障がい者支援施設に関する評価）

令和８年 12 月 11 日（金）・12 日（土）各日午前９時から午後５時

（養成研修は、事前に講義動画を視聴いただく予定）

※申込み期限：養成研修　10 月 30 日（金）

＊1…時間が一部変更になる場合があります

２　会　　場　　宮崎県防災庁舎２階　共用会議室２－１（プレスルーム大）

３　講　　師　　一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会

岡田賢宏氏、右京昌久氏、田中眞弓氏（予定）

４　対 象 者　　宮崎県福祉サービス第三者評価調査者養成研修等実施要領第２条を満たす者[＊2]でかつ研修修了後、第三者評価調査者として活動可能な方

５　定　　員　　①継続研修 20 名程度　②養成研修 10 名程度

６　参 加 費　　無料

７　申込方法　　希望される方は事務局まで。まとめて県へ申し込みます。

＊２…宮崎県福祉サービス第三者評価調査者養成研修等実施要領第２条を満たす者とは

・組織運営管理業務を３年以上経験している者、またはこれと同等の能力を有していると認められる者

・福祉・医療・保険分野の有資格者もしくは学識経験者で当該業務を３年以上経験している者、またはこれと同等の能力を有していると認められる者

２．福祉サービス利用援助事業について（休止のお知らせ）

2025（R7）年５月から再開しました「福祉サービス利用援助事業」について、現在受付けているものを持って、2026（R8）年７月から受付を一旦休止させていただくことになりました。

これまで「福祉サービス利用援助事業」を通じて、日常生活における金銭管理等に不安を抱える方に対し、生活に必要な支払いの手続きや預貯金の管理など、日常生活上の金銭面での支援を行ってまいりました。本事業は、利用者の皆さまが地域で安心して生活を継続していくための大切な支援の一つとして、一定の役割を果たしてきたものと考えております。

一方で、近年は、金銭管理や生活上の不安に対する支援について、各種制度や民間サービス、地域における支援体制が充実し、利用者のニーズや支援を取り巻く環境も変化しています。また、本事業を将来にわたって安定的かつ継続的に実施していくためには、人的・経済的な負担を含め、事業運営のあり方についても改めて検討する必要が生じています。こうした状況を踏まえ、当会では、現在の「福祉サービス利用援助事業」が担ってきた役割を振り返るとともに、今後、どのような支援が利用者の皆さまにとってより適切なのか、また、持続可能な事業としてどのように取り組んでいくべきなのかについて、検討を進めていくことになりました。

なお、現時点において、事業の終了・廃止を決定したものではありません。

現在受けている方の支援は継続していきますので、利用者の皆さまの安心・安全を第一に考え、関係機関とも連携しながら、本事業の今後のあり方について慎重に検討してまいります。

♠ 宮崎県地域生活定着支援センターより

令和８年度 第１回運営推進委員会を、８月５日(水)に開催しました。今年度より、鹿児島刑務所が新たに委員へご就任いただきました。



各関係機関21名にご出席いただき、「発達障がいの理解と支援の方法～“困った人”ではなく“困っている人”という概念理解」をテーマに末永会長へご講演をいただきました。

また、困難事例を挙げ、グループスーパービジョン（GSV）を行いました。



その方の価値感（観）や選好、ストレングスをみつめ、各分野それぞれの視点からアイデアをいただきながら背中を押されるように新たな支援のヒントを得ることができました。そのうえで地域の支援体制で何ができるのか、何をしていけばよいかがすこし垣間見えた研修会になりました。

なお、今年度の普及啓発セミナーは、令和９年１月７日（木）の予定です。詳細等につきましては当会ホームページや次回のそーわちゃんにてご案内いたします。

♠ 宮崎県こどもの権利擁護環境整備事業

１．宮崎県児童福祉施設協議会 施設長会に出席しました

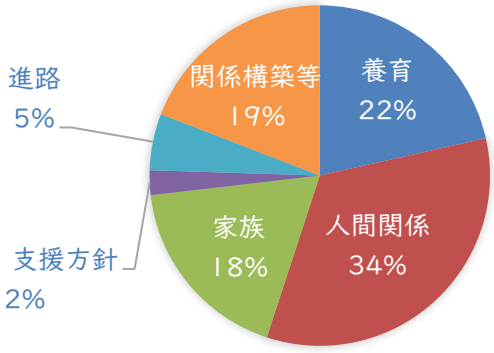
2026 年 8 月 26 日（水）、宮崎県児童福祉施設協議会の施設長会に、宮崎県こども家庭課とともに出席し、「宮崎県こどもの権利擁護環境整備事業」の活動報告を行いました。

本事業は、2025（R７）年５月に受託が決まり、同年８月から活動をスタートしました。活動スタートから１年を迎える中で、これまでの活動状況や現在の取組みについて報告しました。事業の趣旨や取組内容について説明し、ご質問に回答させていただきました。施設長の皆さまから率直なご意見や叱咤激励をいただき、今後の活動を考える上でも、大変貴重で有意義な機会となりました。今回いただいたご意見を今後の取組みに活かし、こどもたちの権利擁護につながる、よりよい事業活動となるよう努めてまいります。

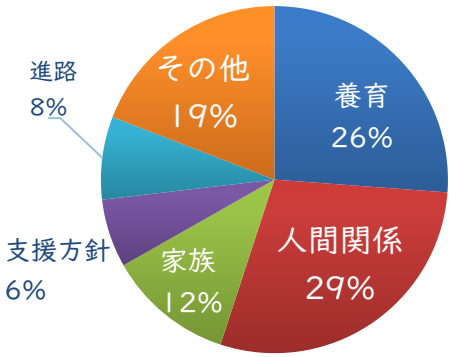
２．令和７年度　活動実績（令和７年８月～令和８年３月）について（ご報告）

89 回	182 名	218 名	40 名
年間訪問回数	アドボケイト派遣数	面談したこどもの人数	218 名のうち意見表明したこどもの人数

面談（意見聴取・意見形成支援）の内訳（218 名）



意見表明支援の内訳（40 名）



意見表明先（延べ 45 件）
・児相一時保護施設・児童養護施設　44 件
・学校　1 件

♠ 2026 年度　司法と福祉委員会より

令和９年２月 20 日（土）に、リーガルソーシャルワーク研修を開催予定です。
詳細等につきましては改めてご案内いたします。

♠ 調査研究実践推進委員会より

社会福祉士の就労実態に関するアンケート調査へのご協力ありがとうございます！

当委員会から会員の皆様へ送付させていただきましたアンケート調査票につきまして、続々とご回答が届いており、委員会一同、大変嬉しく思っております。皆様からのご協力に、委員会では嬉しい悲鳴を上げております。

お忙しい中、アンケートへのご回答にお時間を割いていただき、本当にありがとうございます。

皆様からいただいた一つひとつのご意見やご回答は、研究内容と活動をより充実したものにしていくための大切な資料として活用させていただきます。

なお、アンケートの受付終了は９月 30 日頃を予定しております。まだご回答いただいていない方につきましては、ぜひこの機会にご協力をお願いいたします。

引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

♠ 2026 年度　社会福祉士交流会

本交流会は、スキルアップだけでは難しい社会福祉士の専門性を発揮できる環境・体制を構築することを目的に、社会福祉士同士が繋がりを作る場として、専門能力向上部門（専門能力向上委員会・MSAT）が毎年開催しています。

今年は、８月９日に開催いたしました。

会員・非会員（学生を含む）合わせて 17 名に参加いただき

『実践におけるモヤモヤの共有』

『私の考えるソーシャルアクション』

をテーマにグループワーク形式で交流を行いました。



ベテラン・若手・これから社会福祉士を目指す学生が

交流をすることで普段ではなかなか聞くことのできない話を聞くことができ、それぞれに良い刺激のある交流会となりました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。参加者の皆様から今後も継続開催を望む声を多くいただいておりますので、次回開催時は、今回参加できなかった皆様も是非ご参加ください。

♠ 宮崎県DWAT（ディーワット）（災害派遣福祉チーム）事務局より

2026 年 7 月 28 日（火）16 時 27 分頃に最大震度 7（マグニチュード 7.1）が熊本県宇城市、八代郡氷川町にて発生しました。このたびの熊本県熊本地方を震源とする大きな地震により、お亡くなりになった方のご冥福をお祈りし、ご家族にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

令和８年熊本地震について、宮崎県より宮崎 DWAT へ派遣要請があり、現在１チーム３人・５日間の活動サイクルで　８月７日より第１陣が活動しています。（14 チームで 10 月２日まで活動予定）

DWAT の基本活動方針

【目指すゴール】

避難者が生活の「役割」と「自発性」を取り戻し、その方にとって最適な場所へ復帰・移行すること。支援にあたっては、単なる一時的な生活介助にとどまらず、以下の３点を意識して活動する。

▷ 避難者一人ひとりの権利保障

避難所においても人権が尊重され、人間らしい生活を営むことができるよう適切な支援を行う。また、避難所にとどまらず、在宅や住み慣れた地域での生活へ安全・スムーズに戻るための継続的な支援を行う。

▷「出口（帰るべき場所）」を見据えたアセスメント

単に避難所でのアセスメントにとどまることなく、「この方が本来行くべき場所はどこか」を常に念頭に置いて生活課題を抽出し、生活再建へのロードマップを描く。

▷ 身体・生活能力（ADL/IADL）の維持と生活不活発病の予防

長期避難による身体機能低下を防ぐため、避難所内での役割作りや活動性の向上を図る。感染症予防（消毒・換気・体調管理）を徹底し、健やかに次へのステップへ進める状態を維持する。



▷ 多職種連携による包括支援

他専門チームや行政と密に連携し、個々の避難者の課題に応じた多角的なアプローチを行う。

※DWAT（災害派遣福祉チーム、Disaster Welfare Assistance Team）とは、
大規模災害時に避難所などへ派遣され、高齢者や障害のある人、乳幼児といった要配慮者への福祉的支援を行う専門チームです。

★トピックス

【急募】熊本県宇城市における災害支援活動　派遣協力について

このたびの災害により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
現在、熊本県社会福祉士会では、九州・沖縄ブロックの各県社会福祉士会等と連携し、熊本県宇城市において被災された方々への支援活動を行っています。
宮崎県社会福祉士会では、この活動に協力するため、

2026 年 9 月 28 日（月）から 10 月 2 日（金）までの期間、
熊本県宇城市で活動していただける本会会員を募集します。

今回の活動では、高齢者や障がいのある方など、被災後も地域や自宅で生活されている方を含め、生活上の支援を必要としている方の状況を確認し、必要な福祉・生活支援につないでいく活動等が予定されています。

災害支援の経験がある方だけを対象とした募集ではありません。

その方の生活を見て、話を聴き、必要な支援につなぐ。
社会福祉士として日頃の実践で培ってきた経験を、被災地での支援に活かしていただければと思います。今、派遣人数が不足しています。
ぜひよろしくお願いいたします。

熊本県宇城市における災害支援活動 派遣協力者募集
派遣協力者応募フォーム
https://forms.gle/ck8UGkFACsksVxrD8

QR コード

2028 年　日本社会福祉士会全国大会　宮崎大会（お願い）

毎年各県で開催されている「日本社会福祉士会全国大会」が 2028 年に宮崎で開催されます。そこで、2027 年の奈良大会に向けて「宮崎に来てみらんね～」をテーマに宮崎の魅力を紹介する動画を制作します。撮影隊が 9/19 に下記のスポットを巡り、動画撮影を行いますので、ぜひ一緒に参加していただけると大変盛り上がっていきます。各スポットでの参加をご希望の方は、枠内の URL よりお申込み下さい。一人でも多くの会員の皆様とお会いできるのを楽しみにしています。撮影隊の応援もよろしくお願い致します。

【撮影スケジュール（雨天決行）※詳細は下記にて】

▷ 9/19（土）…撮影隊は 7：05 に宮崎県福祉総合センターに集合
8:30 馬ケ背 → 11:00 綾の吊り橋 → 13:40 宮崎神宮 →
15:30 サンメッセ日南 → 16:40 鵜戸神宮 → 道の駅フェニックス（予定）

Google フォーム URL：https://forms.gle/YfbMJuL98M3iwtQc9

＊時間や場所はあくまで予定です。詳細につきましては、申込〆切後、確認のうえ参加予定の方へ直接メールでご連絡させて頂きます。℡でのご連絡は致しかねますので受信可能なメール設定をお願いします。

▷ 応募〆切： 9 月 15 日（火）

▷ 全国大会テーマ候補について（投票をお願いします）

大会テーマを募集しましたところ、11 個の候補が集まりました。たくさんのご応募ありがとうございました。つきましては、皆さまの投票をもとに候補を 3 つに絞ります。得票数にて候補を決定しますため、皆様の「これが良い！」と思うものを、下記アドレスまたは QR コードから投票して下さい。候補が決まりましたら、ホームページ上で UP し、日本社会福祉士会に提案したいと思います。皆様と一緒に盛り上げていけたら最高です。ご協力よろしくお願いします。

※投票〆切 10 月 20 日（火）　→　https://forms.gle/GLaT1gyyKM89UfR97

バイクツーリング、しませんか？



夏の暑さもひと段落し、そろそろ愛車と一緒に気持ちよく走りたくなる季節がやってきました。

ということで、社士会バイクツーリング同好会、その名も「インカムはつながらないけど心でつながるバイククラブ」も再始動を予定しています！

バイク好きの方はもちろん、「久しぶりに乗りたい」「みんなで走ってみたい」という方も大歓迎！

排気量や車種は問いません。安全運転を第一に景色を楽しみ、おいしいものを食べながら、ゆる～く楽しく走りましょう！

初秋の風を感じながら、愛車と一緒に出かけませんか？

事務局日高（0985-86-6111）まで、皆様のご連絡をお待ちしています！



ホームページの会員用ページ入るには（パスワード等について）

2023（R5）年 11 月より、ホームページをリニューアルしています。
会員用ページに入るには、下のユーザー名とパスワードが必要となります。
よろしくお願いします。

ユーザー名：　csw-miyazaki

パスワード：　Csw-Myzk2311
いちいち

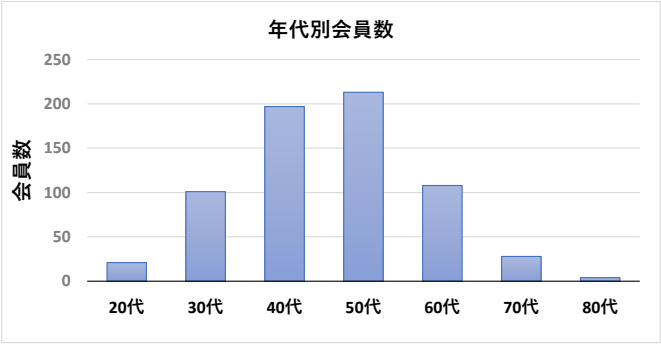
※ご使用にあたって不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください

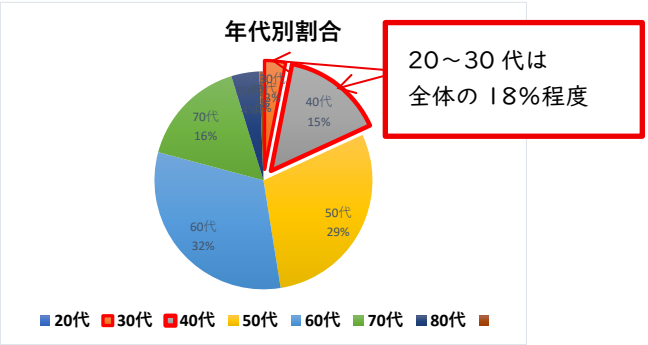
宮崎県社会福祉士会　会員数

ブロック別年代表

2026/9/7 時点

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
宮崎県北部	2	4	23	17	18	7	0	71
日向入郷	5	7	15	24	7	1	0	59
西都児湯	1	16	19	25	9	3	0	73
宮崎東諸県	5	44	71	96	45	12	3	276
日南串間	2	8	27	16	8	3	0	64
都城北諸県	5	15	25	24	14	2	0	85
西諸	1	7	17	11	7	0	1	44
合計	21	101	197	213	108	28	4	672





すべてのお問い合わせは
〒880-0007　宮崎市原町 2-22　宮崎県福祉総合センター人材研修館 3 階
一般社団法人　宮崎県社会福祉士会　事務局
電話　0985-86-6111　　FAX　0985-86-6116
E-mail　csw-miyazaki@water.ocn.ne.jp

【そーわちゃん発行責任者：徳弘 雄一郎】

【HP はこちらから】

【そーわちゃん編集後記（清水）】

最近、朝晩は少し涼しく感じるようになりました。
とはいえ、今年の夏も地震や台風、洪水など、さまざまな災害が続いているように感じます。
海外でも地震などの災害が相次いでいますし、そんなニュースを目にするたびに、「こんな状況で、今は戦争をしている場合なのだろうか？」と、考えてしまう今日この頃です。

私事ですが、4 月から宮崎 DWAT 事務局を担当になりましたが、いきなりの熊本地震で私自身も揺れています。おまけに、初めての「そーわちゃんだより」の編集も重なり「泣きっ面に蜂」表現が合っているかは判りませんが、熊本に派遣されるメンバーの皆様には、大変ご迷惑ばかりおかけしております。

その中で災害支援によく出て来るキーワード、３つの目の話です。
ネットで調べると下記の内容となります。



３つの目の意味と特徴

▷　鳥の目（とりのめ / 俯瞰（ふかん）の視点）
　　高い空から地上を見渡すように、全体像や大きな流れ、自分の現在地をマクロに捉える視点です。

▷　虫の目（むしのめ / 現場の視点）
　　虫のように低い位置から対象に近づき、細部や現場の実態をミクロに捉える視点です。

▷　魚の目（うおのめ / 時流の視点）
　　魚が川の潮の流れや変化を肌で感じるように、トレンドや時系列の動き（時代の変化）を捉える視点です。

どれも欠かすことのできない、大切な視点だそうです。

個人的には、この３つの「目」を持つ人が一つのチームになれば、ものすごく強いチームになると思いますが、とはいえ、実際には「初めまして」の方々が集まってチームを組むわけですから、最初から完璧に３つの目がそろうのは、なかなか難しいと思います。
だからこそ、互いの得意な視点を持ち寄りながら、
　「自分には見えていないものを誰かが見てくれている」
というチームワークが大切なのかもしれません。
さて、皆さまは「鳥の目」「虫の目」「魚の目」のどのタイプでしょうか？

ちなみに私は「虫の目」です。なぜなら、以前は電子顕微鏡でミクロの確認をしていたので……。
と福祉とは全く関係ない所から来ましたので、これからは、この「3 つの目」を意識しながら、
少しずつ DWAT 事務局を含め仕事を覚えていきたいと思います。